

2024年10月31日

日本プロジェクトマネジメント協会  
PMAJ 事務局長 殿

SIG 新設提案書（設立趣意書）

1. 新設提案 SIG 名

「P2M 標準ガイドブック改訂 4 版を学ぶ SIG」

2. 提案者(発起人)

・ 代表：

プロジェクト品質リスクマネジメント、代表 住田秀司 (Shuji Sumida)

※メンバーは今後募集

3. 活動の目的

改訂 4 版 P2M プログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック（以下 P2M と略す。）が 9 月に 10 年ぶりの改訂作業を完了し発売された。P2M は、英語名の「Program & Project Management for Enterprise Innovation」が示す通り、企業全体でイノベーションを実現するためのガイドブックであり、より多くの企業人にその理解を広げ、活用を働きかけ、企業全体の活動へ広めて行くことが重要である。

PMAJ としては、P2M を、多くの企業人に内容の理解、業務に適用する際のポイントなどを学ぶ場を設け、周知していくことが重要な役割と考えている。

そこで、PMAJ として P2M を学ぶ SIG を設け、以下の活動を継続的に実施することを起案する。

4. 活動内容

以下の活動を想定。

- ① 勉強会の実施
- ② 活動成果のとりまとめ
- ③ 活動成果の発表
- ④ その他

5. 活動成果の PMAJ へのフィードバック

- ① 活動状況、成果物などを PMAJ ジャーナル、オンラインジャーナルへの発信

- ② 定期的に「P2M 改訂4 版のポイントセミナー（仮称）」を実施して発表
- ③ ある程度まとまった活動成果の年次 PM シンポジウムでの発表
- ④ 活動年度ごとの活動報告書の作成 他

## 6. 活動期間

継続的な活動を想定する。

## 7. メンバーの募集方法と運営ポリシー

- ① メンバー募集方法
  - ・ PMAJ HP を通じての公募
  - ・ SIG メンバーの口コミ
- ② 運営ポリシー
  - ・ SIG 会合は月 1 回程度、メンバーで合意した時間帯に開催し、ZOOM ミーティングないしは PMAJ 会議室、または両者を併用して行う。
  - ・ 意見交換などは会議やメーリングリスト、PMAJ の Google Workspace の環境などを利用して行う。
  - ・ 運営はメンバー間の Give & Take の原則に基づく。
  - ・ 情報交換に当たっては、企業機密保護の原則に抵触しないよう留意する。

## 8. PMAJ にとってのメリット

- ・ PMAJ の原点であり、強みでもある「P2M」を学ぶ場を提供し、多くの産業人に普及させて行くことで、その理解が広がり PMAJ の活動に興味を持つ人間が増える。
- ・ 参加メンバーが自らの業務に P2M を適用するなどの活動により、P2M の実践事例が増え、P2M を実務へ適用するためのノウハウ、フレームワークなどが蓄積される。
- ・ これらの活動成果を積極的にアピールすることで、プロジェクト・プログラムマネジメントの実務者や、広く産業界への貢献となり、PMAJ のミッションである「わが国産業の国際競争力の強化および活力ある経済社会の発展」に貢献できる。
- ・ 活動を通して、PMAJ のプレゼンスを高め、結果として PMAJ の会員活動の活性化、会員増につながる。

## 9. 予算措置

必要な場合は、別途申請し、承認を得る。

以上